



9月号をお届けします。執筆時点では立秋が過ぎていますが、全国で連日の猛暑が続いています。今年の夏は、太平洋高気圧の中心が北に偏っており、北日本が暑いのが特徴で、全国の最高気温が北海道で出たりしています。札幌は連続18日の真夏日で、観測史上の記録を更新したとのこと。平年ですと、札幌の気温は東京より4度ほど低いそうですが、今年に関しては東京と大差ないとのこと。

新型コロナウイルスは、インドで発生したと言われるデルタ株が世界各地で猛威を振るっており、日本でも各地で感染者が急増しています。東京では、連日過去最高の感染者数が報告されており、8月8日までの7日間平均の感染者は4037人となりました。首都圏の他の県でも感染は急拡大しており、緊急事態宣言の対象地域には、東京都と沖縄県に加えて、8月2日から埼玉、千葉、神奈川の3県と大阪府が加わり、6都府県に拡大されました。また、まん延防止等重点措置は、8月2日から北海道、石川、兵庫、京都、福岡の5道府県に適用されましたが、8月8日からは、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、静岡県、愛知県、滋賀県、熊本県にも適用されました。これらの措置は、いずれも8月31日までとなっていますが、それまでに事態の改善がみられるかどうかは不透明な状況です。デルタ株については、感染力が強く、感染者数が激増していますが、現在のところ、死亡者数はそれほど増えていないようです。しかし、入院者数や重症者数が増えていますので、今後が懸念される状況です。一方で、高齢者へのワクチン接種はかなり進んでおり、各地で高齢者以外へのワクチン接種が本格化してきています。高齢者の感染者や重症者数がそれほど多くないことから、ワクチンの効果は出ているものと思われますが、デルタ株についてはワクチンの効果がやや低いとの報道もあり心配されます。

そのような中で、オリンピック東京大会が7月23日から8月8日まで開催されました。開催の是非について様々な物議をかもし、最終的に大部分が無観客となりましたが、ふたを開けてみると、日本選手の活躍が目立った大会となりました。金メダル27、メダル総数58は、いずれも過去最高となりました。種々の重圧の中で健闘した選手の皆様に拍手を送りたいと思います。また、来日した選手や役員は選手村と競技会場に缶詰めの状態で、観光はおろか食べ歩きもできない状態だったようです。いつか機会があれば、ぜひ再度日本を訪れて、豊かな自然と奥深い歴史を満喫し、おいしい食べ物とお酒を楽しんでいただきたいものです。

コロナ禍による在宅勤務の普及で通勤電車の混雑は以前に比べて少なく感じていましたが、国土交通省が7月9日に発表した2020年度の都市鉄道混雑率調査結果によって、通勤混雑の状況が明らかとなりました。東洋経済オンラインのまとめによると、混雑率1位は日暮里・舎人ライナー（赤土小学校→西日暮里）で140%、2位は信越線（新津→新潟）で135%、3位がJR武蔵野線（東浦和→南浦和）で134%、4位がJR可部線（可部→広島）で132%、5位が都営地下鉄三田線（西巢鴨→巢鴨）で129%とのこと。しかし、2019年度では60位の横浜市営地下鉄ブルーラインでも混雑率が160%でしたので、いかに乗客が少なくなっているかわかります。

醸造協会では、醸造WEB講習の新プログラムである「杜氏萬流」の公開を開始しました。全国各地の名杜氏による講義で、皆様の知りたい情報が詰まっています。登場するのは、秋田県・新政酒造の佐藤祐輔杜氏、山梨県・山梨銘醸の北原亮庫杜氏、福井県・黒龍酒造の畑山浩杜氏、三重県・木屋正酒造の大西唯克杜氏、和歌山県・平和酒造の柴田英道杜氏、広島県・金光酒造の金光秀起杜氏、愛媛県・石鎚酒造の越智浩杜氏です。受講料は35,200円（税込）で、受講可能期間中は何度でもご覧いただくことができます。詳しくはホームページをご覧ください。

まもなく酒つくりのシーズンが始まりますが、醸造協会では、例年通り令和3年度向けの清酒酵母の選抜を行い、準備を進めております。今年度の「きょうかい酵母」のラインアップにつきましては、今月号から掲載の巻頭の広告をご覧ください。皆様のご利用をお待ちしております。